

伊賀市 事務事業評価シート

経常的事務事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	87	伊賀市名張市広域行政事務組合経費	会計	1	一般会計
基本施策	56	広域連携によってより大きな課題に取り組む	款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	6	企画費
担当部課名	企画振興部企画調整課		細目	102	地域振興経費
作成者氏名	山下 章光	連絡先	細々目	09	地域振興事務経費
		22-9620			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	伊賀市名張市広域行政事務組合	成果(どうなるのか)	伊賀・名張圏域の一体性を向上させるため、伊賀市名張市広域行政事務組合の事業が展開される。
	本年度事業内容	広報紙の発刊(年4回)、圏域内探訪ツアーや講演会の実施。		
根拠法令・要綱等 地方自治法等				

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
支出内訳 (千円)	事業費(B)	20,368	11,742	11,742
	委託料			
	負担金	11,052	11,694	11,694
	出資金	9,316		
	その他		48	48
合計(A+B)		21,088	12,462	12,462
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	21,088	12,462	12,462	
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
広域行政事務組合広報紙の発行回数	回	4	4	4			
圏域内探訪ツアーの実施回数	回	1	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
伊賀地区ふるさと市町村計画の策定	広域組合は一体性の実現に向けた事業に取り組んでいることから、平成18年度に住民アンケートによってえられるニーズを反映した「伊賀地区ふるさと市町村計画の策定」を指標に設定した。	%		100	
			目標 ()		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

現在の広域事務及び農業共済事務だけでなく、消防・環境・病院等、両市で共同で行った方が効率が良い分野に取り組む必要がある。また、今後の食肉センターの運営について早急な検討が必要である。

評価	有効性	3	圏域内の一体性確立のためには欠かせない事業であるが、取り組んでいる分野が少ないため、まだまだ一体性の確立は達成されていない。	総合評価 B
	達成度	2		
	効率性	3		